

# 長崎県の軍艦島が世界遺産登録 一周年を迎えました。

軍艦島は、ユネスコ（国連教育科学文化機関）世界遺産委員会が、2015年7月5日「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の23施設の一つとして世界文化遺産に登録されました。

軍艦島デジタルミュージアムは、端島（軍艦島）を十分に理解して頂くために開設された施設で、デジタルアート界のトップクラスのクリエイター達が、最新のデジタル映像により、当時の島の人々の暮らし等をご案内している素晴らしい施設です。オーエスの映像技術もその一部でご協力させて頂いています。

**軍艦島デジタルミュージアムには、オーエスの映像技術が生かされています。**



軍艦島デジタルミュージアムの見どころの一つは、30mの映像プレゼンテーションです。長い壁面いっぱいに映像を途切れさせることなく、4Kの10倍、40Kの映像回廊を創り出し、当時の面影を大型画面で臨場感いっぱいに表現しています。採用されたプロジェクターはオプトマ HD92。光の3原色RGBをLEDの独立光源として持つため、色の再現性に優れ、ランプ交換もほぼ不要の長寿命プロジェクターです。

**40Kの映像回廊をご覧いただけるのはここだけです。**



所在地  
〒850-0921 長崎市松が枝町 5-6  
TEL.095-895-5000  
FAX.095-895-5005



採用されたプロジェクターは  
Optoma（オプトマ）HD92

投写方式 / LED光源 単板DLP™方式、表示素子 / 0.65型DMDパネル(1920x1080)、明るさ / 1,500ルーメン、コントラスト比 / 500,000:1、投写レンズ / F=2.0 ~ 2.32、f=18.07 ~ 22.59mm、1.25倍マニュアルズーム、使用ランプ / LED 131W±10%、レンズシフト / マニュアル：水平方向 ± 各10%、垂直方向 ± 各60%、騒音値 23dB（フィルムモード）、消費電力 / 225W（ブライモード）、外形寸法 / 345(W) x 443(D) x 162(H)mm、製品質量 / 6.5kg  
市場想定価格：500,000円前後（消費税別）



<http://gdm.nagasaki.jp/>

軍艦島デジタルミュージアム  
公式WEBページ

# OS NEWS

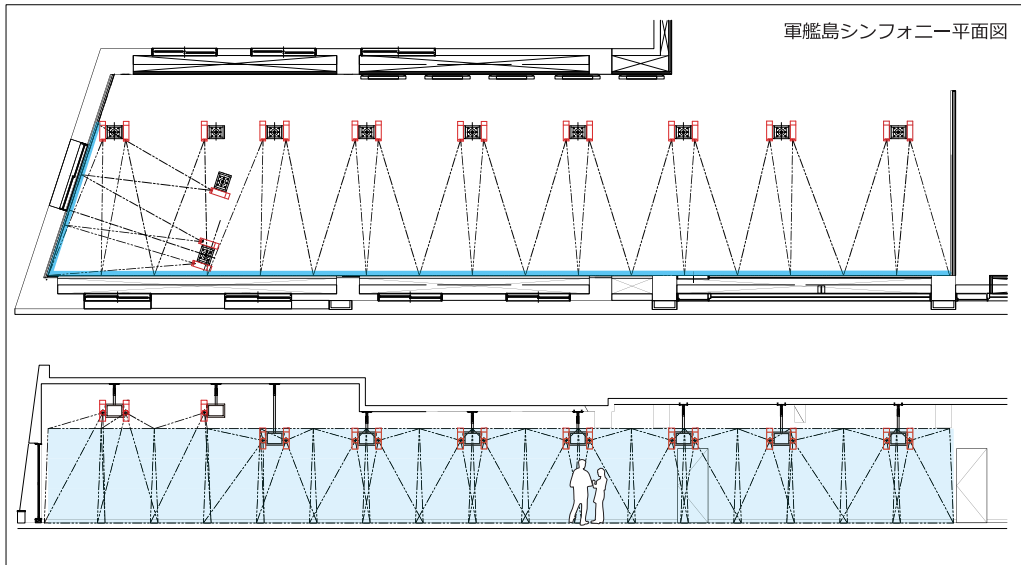
編集・発行：株式会社オーエス マーケティング課

2016年8月1日発行

## NO.07

お客様へのお役立ち情報、トピック等をお知らせする情報誌をお届けいたします。

HD92は縦置設定が可能。ペア×9セット+単独2台の20台が写す迫力あるブレンディングです。



30m の巨大スクリーン「軍艦島シンフォニー」ではHD92 が長寿命・色彩性・設置性で選ばれました。設置に当たっては取付高の段差・壁の折り返し・投影角など様々な課題を一つ一つ解決しています。単純に繋ぐというブレンディングではなく“究極のマッピング”を目指し20台のR・G・B・C・M・Y・Wの七色を個々に調整しています。訪れた方が皆感動する映像は、優れた機器と調整技術が支えています。

長さ30mの軍艦島デジタルミュージアムのメインコーナー「軍艦島シンフォニー」。



ぜひお近くに行かれる際にはご覧ください。また軍艦島に渡る前にご覧になると、軍艦島の理解がより一層深まります。

取材協力：軍艦島デジタルミュージアム  
株式会社ゼロテン  
株式会社次世代商品開発研究所

「コンピューターで一括処理されているにもかかわらず、なぜ請求書を営業マンが手直ししてお客様に送付しなければならぬのか。営業で外回りをして帰社後に事務処理をすると終電に間に合わないくらいの仕事量があるので、何とかシステムの改善ができないでしょうか。」と。

もちろん社長は即答されませんでした。

終了後、人事部の方から「あのような細かなことを社長に質問してはいけない。」とお叱りをいただきました。

私には意味がわかりませんでした。

何でも聞いてよいですよ、と言われたので現実をお伝えして改善要望をしただけで叱られたのです。

大人の社会は難しいと感じた瞬間でした。

(続く)

ある日上司から呼ばれて、次のような話をされました。

「若手を中心にしたQC活動IIアクションプランボードを全社あげることになったので、大阪支店のメンバーの一人として参画してくれ。」

この時の私はやっと営業にも慣れて、仕事が楽しくなっていて、毎日を忙しく過ごしていました。このようなタイミングでお話をいただき、QC活動って何なのか、全くわからず参画をさせられたのです。

大阪支店のアクションプランボードメンバーのテーマは「電話料金の削減」でした。

QC活動の意味すらわからないままに参画して一人前のように意見を述べさせていただいた記憶だけが鮮明に残っていますが、今思えば生意気だったなあ、と反省いたしております。

そんな活動中のある時、アクションプランボードメンバーと社長が昼食懇談会をするという話が人事部からきました。

人事部の方からは「日ごろ社長とお話する機会がないので、この機会に何でも聞いてよいですよ」とのお言葉をいただき、そのお話を本気で受け取りいろいろと質問をさせていただきました。

そのうちの1つに

株式会社オーエスは二〇一四年に創立六十周年を迎え、今新しい歴史を刻もうとしています。代表奥村正之が歩みを振り返ります。何が語られるか、お楽しみください。

乾坤一擲

007

代表 奥村正之

記載内容に関するお問い合わせは、弊社担当者あるいはコンタクトセンターまでお願いいたします。